

進めよう！「小郡の子ども共育10の実践」

～志をもち、新しい時代を切り拓くためにたくましく学ぶ小郡市民の育成～

市は、「小郡の子ども共育10の実践」を作成し、「学校・家庭・地域」の具体的な取組を推進しています。「小郡の子ども共育10の実践」は、「学校・家庭・地域」の三者の役割を明確にし、相互に連携・協力して、子どもを育てることを推進するものです。※共育とは、子どもと大人が共に育つことです

家庭での3つの実践

～大人(親)になるための自立を！～

①規則正しい生活習慣を

- ★早寝・早起き・朝ご飯を実践しよう
- ★家庭学習の習慣を身に付けさせよう

②家庭での楽しいだんらんを

- ★家族の会話やふれあいを楽しもう
- ★親子読書(家読)などに取り組もう

③家族で役割やルールを決めて

- ★家庭での仕事やお手伝いをさせよう
- ★携帯・パソコンのルールを守らせよう

※新家庭教育宣言(PTAや各家庭で目標を立てて、家庭で取り組む活動)でも実践しよう

地域での4つの実践

～地域の一員としての自覚を！～

①地域で子どもの安全を守ろう

- ★子どもの登下校を見守ろう
- ★きまりやマナーを身に付けさせよう

②子どもの居場所をつくろう

- ★地域ぐるみで声をかけよう
- ★子どもが集える広場をつくろう

③生活体験を豊かにしよう

- ★地域行事に参加し、伝統文化にふれさせよう
- ★通学合宿などで仲間との絆を深めよう

④地域の産業に学ばせよう

- ★職場体験などを積極的に受け入れよう
- ★地元の農・商・工業などに学ばせよう

園・学校での3つの実践

～生きる力の育成を！～

①確かな学力を育てよう

- ★遊びや生活の中で、自然や数量への関心を高めさせよう
- ★自分の考えを多様に表現させよう
- ★考えの伝え合い、学び合いをさせよう

②豊かな心を育てよう

- ★関わりを大切にした遊びをさせよう
- ★体験活動に積極的に取り組ませよう
- ★よさや人権を認め合えるようにしよう

③健やかな体を育てよう

- ★自分の体を十分に動かし、進んで遊ばせよう
- ★友達との外遊びやスポーツを進めよう
- ★最後まで挑戦する意欲をもたせよう

市民みんなの実践

- ★あいさつ(オアシス)運動
- ★花いっぱい運動
- ★小さな親切運動
- ★新ストップ非行街頭活動
- ★ボランティアパスポート活動

●●● 取組の一部を紹介します ●●●

学校での取組

学校では、「豊かな心を育てる」ためにさまざまな体験活動に取り組んでいます。立石中学校では、総合的な学習の時間に「伝統文化ほんもの講座」を行いました。地域で活躍している講師を招いて、本物の生け花、囲碁、茶道を学ぶことができました。

地域での取組

地域では、「子どもたちの生活体験を豊かにする」ために、通学合宿や職場体験、地域行事への参加などの取組を行っています。大原校区では、「ふれあい体験基山登山」が開催されました。子どもたちは、基山の素晴らしい風景やお世話していただいた地域の人の温かさに触れることができました。

家庭での取組

家庭では、「家庭での役割やルールを決めて」、携帯電話・スマートフォンの使い方やマナーを守る取組を行っています。中学校では、「家庭教育宣言」を通して、生徒会と各家庭とが積極的に協力して、家庭のルールを作ったり、正しい使い方について話し合ったりしています。



● 問合せ先 教務課教務係 ☎72-2111内線515